

# CYBERNET

## IMail Server v12.5.6 補足資料

1,本書の目的 .....	3
2,サポート OS、サポートブラウザと必要事項.....	3
3,IMail Server 12.5.6 の新機能 .....	4
4,IMail Server 12.5.6 の修正された項目 .....	4
5,IMail Server 12.5.6 新機能詳細 .....	5
5-1, Windows Server 2016 対応 .....	5
5-2, OpenSSL アップデート .....	5
5-3, Outbound SSL デリバリーオプション設定画面の追加 .....	5
6, IMail Server 12.1 から 12.4 までの新機能について.....	8
7,注意事項.....	9

## 1.本書の目的

本書は IMail Server v12.5.6 の新機能等について纏めた資料です。

インストール及びアップグレードに関しましてはそれぞれ別冊の「IMail Server v12.5.6 新規インストールガイド」又は「IMail Server v12.5.6 アップグレードガイド」をご確認ください。

本ドキュメント以外の情報ソースとして下記を公開しております。「サービス・サポート」には IMail Server に関する各種情報や公開中のパッチなどが掲載されております。

さらにお問合せが多い項目をまとめて FAQ として「テクさぼ」に公開しておりますので、こちらもあわせてご確認ください。

「サービス・サポート」

[http://www.cybernet.co.jp/imap/service\\_support/](http://www.cybernet.co.jp/imap/service_support/)

「テクさぼ」

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&event=CE0002&cid=58429>

## 2.サポート OS、サポートブラウザと必要事項

### 1) IMail Server v12.5.6 サポート OS

下記 OS に対応しております。

Windows Server 2008 SP2 (32bit)

Windows Server 2008 R2 SP2 (64bit)

Windows Server 2012

Windows Server 2012 R2

Windows Server 2016

※ドメインコントローラー上への IMail Server のインストールはサポートされていません。

No. 13135 「ドメインコントローラー上への IMail Server のインストールについて」

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=90747&event=FE0006>

※Windows のパッチについてはリリース作業時(2017 年 9 月時点)で最新のパッチを適用し動作検証を実施しております。

## 2) 対応ブラウザ

Internet Explorer 8、9、10 及び 11

※Internet Explorer 7 以下はサポート対象外です。

※Edge ブラウザはサポート対象外です。

Google Chrome

Safari 5 以上

Firefox 7 以上

## 3) 必要事項

Internet Information Service (IIS) 7.0 以上

Microsoft .NetFramework 4.5/4.6

Microsoft .NetFramework 4.0

Microsoft .Net Framework 3.5 Service Pack\*

\* Windows Server 2008/2008R2 上に IMail Server のインストーラーにより SQL Express をインストールする際に必要です。利用されない場合はインストール不要です。

IMail Server v12.5.6 インストール前に各 OS で上記がインストール・有効化されていることが必要となります。

詳細については「IMail Server v12.5.6 新規インストールガイド」又は「IMail Server v12.5.6 アップグレードガイド」をご確認ください。

## 3,IMail Server 12.5.6 の新機能

### 1) Windows Server 2016 対応

Windows Server 2016 に対応しました。

### 2) OpenSSL アップデート

OpenSSL が 1.0.2J にアップデートされました。

### 3) Outbound SSL デリバリーオプション設定画面の追加

Outbound SSL デリバリーオプションの設定画面が Queue Manager サービス設定画面に追加。(以前のバージョンではレジストリの修正により設定。)

## 4,IMail Server 12.5.6 の修正された項目

IMail Server 12.5.6 では下記項目が修正されております。

### 1) List Server (メーリングリスト)における「ETRE」、「ETCETERABLU」として知られるバッファオーバーフローに至る脆弱性を対策。

### 2) WebMessaging にログイン時「ユーザ名@ドメイン名」の形式で、存在しないドメイン名を指定しても(パスワードが一致すれば)ログインできる問題を修正。

- 3) 最大メッセージサイズを超えたメッセージに対して、WebMessaging が不適切なエラーメッセージを表示する問題を修正。
- 4) Content-Type ヘッダーに大文字の属性名を含む場合に、WebMessaging が本文を正しく表示しない問題を修正。
- 5) 複数のネットワークカードを持つサーバー上において、パスワードリセットの通知メールの送信に失敗する問題を修正。
- 6) POP3 に 1000 以上の同時アクセスがあった際に異常終了する問題を修正。
- 7) メールアーカイブ機能において設定したサイズに到達する前にメールボックスがロールオーバーされる問題を修正。
- 8) SQL Server のバージョン情報に数字以外の文字が存在する場合に、IMail Server をインストールできない問題を修正。
- 9) IMail Server Activation Utility が UAC 昇格のプロンプトを表示しない問題を修正
- 10) ドメインのパスワード有効期限を有効化した際に、一部のユーザを期限切れに設定してしまう問題を修正。
- 11) Content-Type ヘッダーの記述フォーマットにより、添付ファイルの拡張子が表示されないことのある問題を修正。
- 12) メールの件名に特定の記号 (Windows でファイル名として使用できない記号) を含む場合に、WebMessaging で正常にダウンロードできない問題を修正。
- 13) 過去メール削除ツール (immsgexp.exe) が処理途中で停止する問題を修正。

WebMessaging 修正内容の仕様制限、設定変更については「IMail Sever v12.5.6 WebMessaging 利用ガイド」をご確認ください。

## 5,IMail Server 12.5.6 新機能詳細

### 5-1, Windows Server 2016 対応

Windows Server 2016 に対応しました。

### 5-2, OpenSSL アップデート

OpenSSL が 1.0.2J にアップデートされました。

### 5-3, Outbound SSL デリバリーオプション設定画面の追加

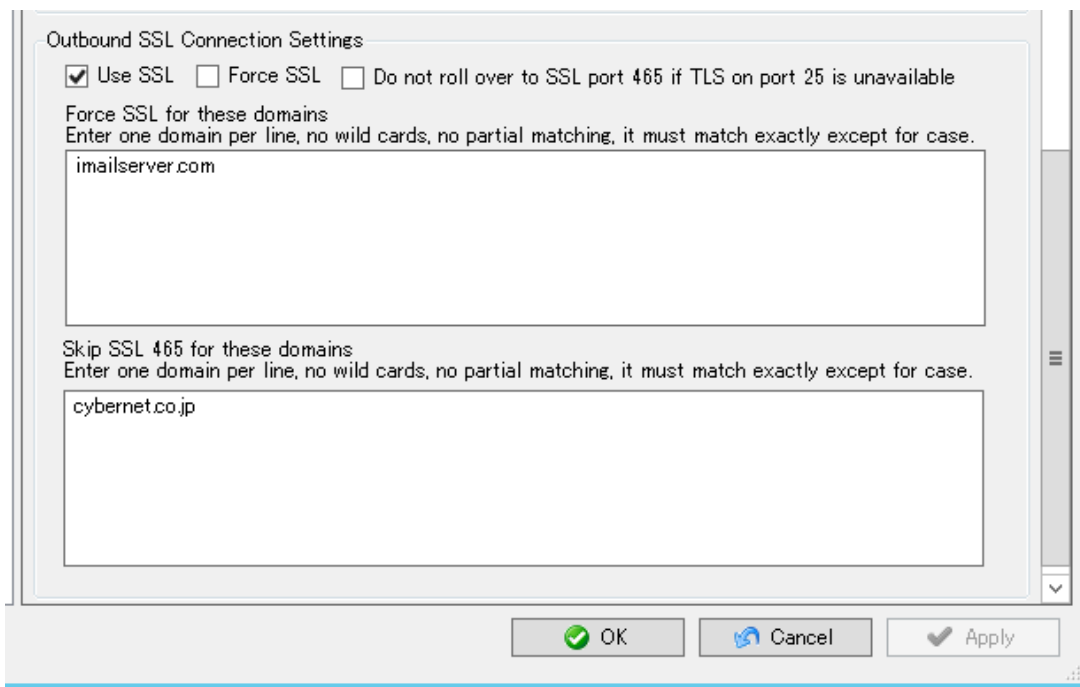
これまでレジストリの変更で行っていた Outbound SSL デリバリーオプション (特定ドメインへの SSL 通信の強制または抑止) を IMail Administration Console および IMail Web Administration の画面上から設定できるようになりました。

注意: 本機能の利用には、事前に SSL 証明書の作成および設定が必要です。

以下、設定画面と各設定の説明です。

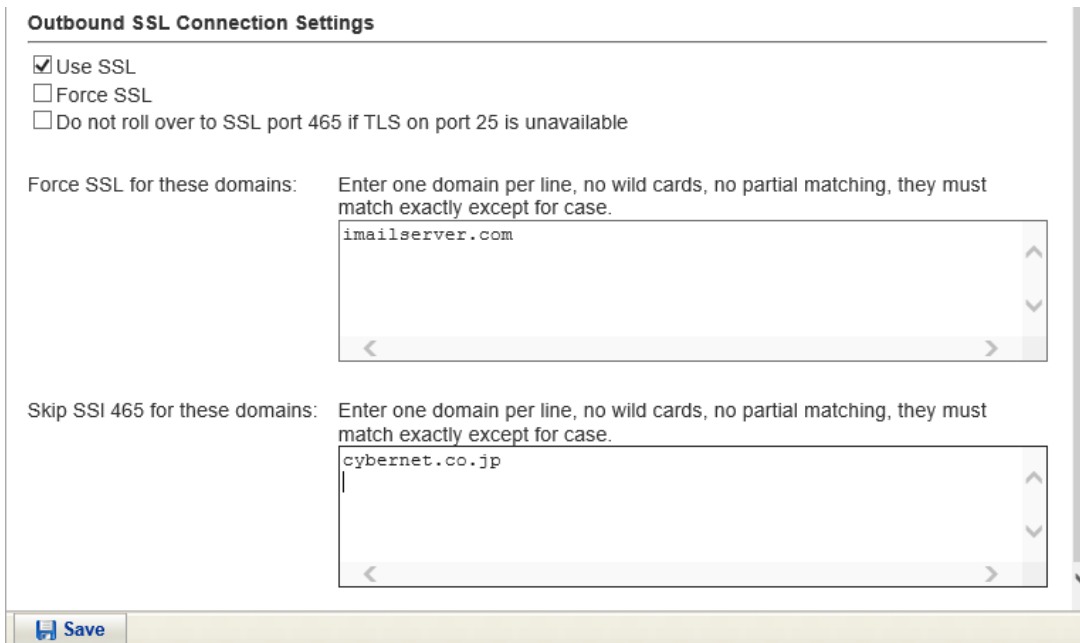
IMail Administration Console、IMail Web Administration ともに [Services] の Queue Manager サービスの設定画面の最下部にあります。

#### IMail Administration Console の設定画面



The screenshot shows a dialog box titled "Outbound SSL Connection Settings". It contains three checkboxes: "Use SSL" (checked), "Force SSL" (unchecked), and "Do not roll over to SSL port 465 if TLS on port 25 is unavailable" (unchecked). Below these are two text input fields. The first is labeled "Force SSL for these domains" and contains the text "imailserver.com". The second is labeled "Skip SSL 465 for these domains" and contains the text "cybernet.co.jp". At the bottom of the dialog are three buttons: "OK" (with a green checkmark icon), "Cancel" (with a blue X icon), and "Apply" (with a green checkmark icon).

#### IMail Web Administration の設定画面



The screenshot shows a web-based form titled "Outbound SSL Connection Settings". It has the same three checkboxes as the dialog box: "Use SSL" (checked), "Force SSL" (unchecked), and "Do not roll over to SSL port 465 if TLS on port 25 is unavailable" (unchecked). Below these are two text input fields with scrollbars. The first is labeled "Force SSL for these domains:" and contains the text "imailserver.com". The second is labeled "Skip SSI 465 for these domains:" and contains the text "cybernet.co.jp". At the bottom left of the form is a "Save" button with a floppy disk icon.

## 各設定項目の説明

### [Use SSL]

本機能を使用するにはこの項目を有効化します。本設定の有効化により、接続先の MTA に対して最初に 25 番ポートへの TLS 接続を試みます。接続先で 25 番の TLS がサポートされていない場合、465 番ポートへの SSL 接続を試みます。いずれの接続も確立できなかった場合、SSL/TLS を使用せず 25 番ポートに接続します。※本設定の機能は以前のバージョンと同じです。

### [Force SSL]

本設定の有効化により、[Use SSL]と同様に 25 番ポートの TLS、465 番ポートへの SSL 接続を試み、いずれの確立できなかった場合メールは送信しません。※本設定の機能は以前のバージョンと同じです。

### [Do not roll over to SSL port 465 if TLS on port 25 is unavailable]

本設定を有効化すると、25 番ポートの TLS 接続のみを試みます。その他の接続は試みません。

### [Force SSL for these domains]

ここに設定したドメインに対してのみ[Force SSL] を有効化した時と同じ動きをします。ワイルドカードや部分一致はサポートされませんので、ドメイン名を省略せずに設定します。[Force SSL] が有効化されている場合、この設定は使用できません。

### [Skip SSL 465 for these domains]

ここに設定したドメインに対してのみ[Do not roll over to SSL port 465 if TLS on port 25 is unavailable] を有効化した時と同じ動きをします。ワイルドカードや部分一致はサポートされませんので、ドメイン名を省略せずに設定します。[Do not roll over to SSL port 465 if TLS on port 25 is unavailable]が有効化されている場合、この設定は使用できません。

## 6, IMail Server 12.1 から 12.4 までの新機能について

以前のバージョンで追加された機能については下記 FAQ をご確認ください。

- 1) DomainKeys 及び DKIM 設定方法

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=90740&event=FE0006>

- 2) POP3/IMAP4 Account Harvesting

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=90966&event=FE0006>

- 3) Hacked account Mail Regulator (HAMR)

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=90969&event=FE0006>

- 4) Required Password Strength

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=91136&event=FE0006>

- 5) Dictionary Attack Settings (辞書攻撃設定)

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=92311&event=FE0006>

- 6) Gateway Host in Domain

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=100085&event=FE0006>

- 7) Spool Monitor

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=100088&event=FE0006>

- 8) SMTP Account Harvesting

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=100092&event=FE0006>

- 9) Password Expiration

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=100095&event=FE0006>

- 10) WebMessaging 共有連絡帳

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=100745&event=FE0006>

- 11) NumRCPTTOPerMsg

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=169139&event=FE0006>

- 12) Address Masquerading

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=188367&event=FE0006>

- 13) Disabled Plain Text Authentication

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=188370&event=FE0006>

- 14) Force SSL delivery for specific domains

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=188373&event=FE0006>

- 15) Password Reset

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=188376&event=FE0006>

- 16) Public Contacts

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=188379&event=FE0006>

- 17) Mail Collector

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=189535&event=FE0006>



上記以外の機能・設定についてはテクさぽ FAQ ページをご確認ください。

テクさぽ FAQ ページ

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&event=CE0002&cid=58420>

## 7.注意事項

IMail Server v12.1 以降では CRLF 以外の不正な改行コードが利用されている場合、IMail Server はメールを処理しないようになっております。これは IMail Server が RFC 2822 Section 2 を厳格に対応するための処理であり、IMail Server での不具合ではありません。

CRLF 以外の不正な改行コードのメールを受信した場合、IMail Server のログに下記が記載され、それ以降の処理が終了します。

InvalidNewlineCharacterException in \_OnRecvCommand

または

500 Invalid new-line character sequence

IMail Server v12.1 では下記に紹介しています修正モジュールを適用する事で、下記のような処理を行います。

No.13139「IMail Server／IMail Premium v12.1 用 修正モジュール」

<http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=90760&event=FE0006>

(パッチ適用後の処理)

LF - 拒否

CR - 受信

CRLF - 受信

CRLFLF - 拒否

CRCLRF - 受信

IMail Server 12.3 以降では SMTP White List に送信元の IP アドレス(またはアドレス帯)とサブネットマスクを登録する事で、下記の動作となります。

※設定後 SMTP の再起動が必要となります。

LF - 受信

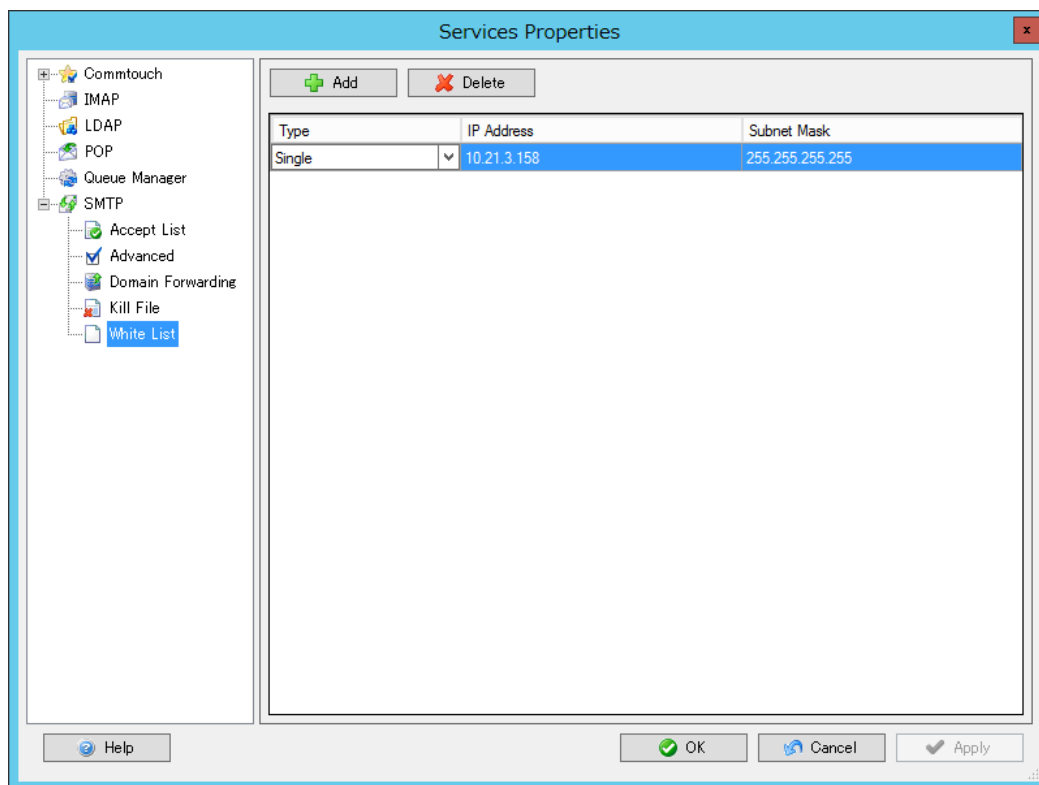
CR - 受信

CRLF - 受信

CRLFLF - 受信

CRCLRF - 受信

## SMTP White List の設定例



上記では 10.21.3.158 を許可する設定としております。アドレス帯を設定する場合、Type で Group を選択し、アドレス帯とサブネットマスクを登録します。

本設定を実施しても IMail Server がメールを処理しない場合、上記指定以外の改行コードを利用している可能性があります。